

# 北陸石仏の会々報

第 16 号  
平成9年8月25日発行

編集発行

北陸石仏の会 (日本石仏協会北陸支部)  
代表 久世 嘉太郎

〒939-13 富山県砺波市太田一七七〇 尾田武雄方  
電話 〇七六三一三二二一・二七二  
振替 〇〇七四〇一・二一・一九七四

## 福井県三国町の石仏巡り雑感

吉川 繁

『越』の国府は、武生に置かれたと歴史が示している。それが、  
持統三(六八九)〜六年(六九二)頃、越前・越中・越後の三国に  
分かれた。その以後に『越後国府』は、上越へおかれた可能性が  
高いと現時点ではいわれている。

更に、上越地方には鎌倉〜江戸時代にかけての、越前・越中石  
材による石仏が見られる。そのような因縁から、機会があれば



『石の故郷の散策』にと  
関心をよせていた。

その矢先、平成七年九  
月三日の『武生の石仏巡  
り』が北陸石仏の会で企  
画され、吉村さんと共に  
参加させて頂く。そして  
又『三国町巡り』へも、ご

一緒できた。まさに、古代の『越』が取り持つ縁とも言うおうか？

一行は四〇名余で、富山駅から大型バスが運行された。お陰様  
でこの方面の地理に暗い私達には、気楽な旅で嬉しかった。

午前中に見学した滝谷寺は永和元年(一三七五)に創建され、  
性海寺は永徳元年(一三八一)に二世が現在地へ移ったと言わ  
れる。共に南北朝時代末よりの真言宗で、境内に祀られた石仏に  
も見るべきものが多い。

殊に滝谷寺の定印阿弥陀如来坐像・宝篋印塔・十三仏を配し  
た石龕の開山堂、性海寺の善光寺式彌陀三尊・多宝塔・森家の墓  
塔・竹内氏の墓と海難供養碑・性海寺観音堂下にあったという千  
手観音等を興味深く拝観した。

午後は、三国神社の石垣や石畳・西光寺の鬼瓦と大仏・金鳳寺  
の十六羅漢が印象的。最終見学のモダンな郷土資料館が、明治十  
二年の小学校復元と聞いて流石は三国町と驚いた。

好天下の催しは、私達に充実した一日を恵む。朝倉・柴田・丸  
岡、福井藩の諸武将と庶民・三国湊の交易・湊街の盛衰等々、  
歴史の残像を石仏に尋ね求める三国町巡りだった。

お世話頂いた役員さんをはじめ、ボランティア、ガイドさん、  
そして親切な同行石仏愛好の皆様方に衷心より感謝の意を捧げた  
い。

北陸石仏の会第十六回例会出席者

◇富山県

小竹一夫 大野猪策 前田英雄 前田松代 加藤永子 深山節  
 代 佐伯安一 森本朝子 平井一雄 尾田武雄 矢内 彰 中  
 野 中島 前田 掛橋 掛橋 岡野 斉藤善夫 林 貞子 岡  
 田静子 中嶋照子 坂口ふじ子 小西うさ子 尾田和子 南金

三

◇石川県

南外志雄 細井明  
 義 細井好美 高

田慈久 小坂俊子  
 久世嘉太郎 久世  
 文子 嶋 板坂

橋 橋 毛利直枝  
 滝本靖士 白田博  
 以上田信子 三

◇福井県

大久保まさ子 辻

角紀子 北村市朗

◇新潟県

古川繁 吉村博



〈石仏紹介〉6

魚藍観音

三十三体観音の十番におかれる。観世音菩薩は衆生済度の為  
 に、三十三の姿に変身されると『観音経』に説かれ、この説に基  
 づいて後に作られたもので、典拠は不明とされる。俗にいう三十  
 三所観音とは別のもの。像容は水上の大魚の背に乗る姿と、魚を  
 入れた籃を携える姿とがある。養魚業者、養鯉業者、漁業者など  
 が、魚の供養のために造立する例が多い。ここも新鮮な魚料理で  
 繁盛した料理旅館である。(富山県水見市菟田 魚眠洞北隣)



(柳沢 栄司)

## 平成8年度決算報告

## 収入の部

項目	予 算	決 算	備 考
前期繰越金	4,526	4,526	
会 費	200,000	180,500	88×2,000 3×1,500
雑 費	1,474	244	預金利子、その他
合 計	206,000	185,270	

## 支出の部

項目	予 算	決 算	備 考
事 務 費	27,000	21,630	封筒代
会 報 費	130,000	100,940	No.13, 14, 15
郵 送 費	49,000	47,380	切手代
予 備 費	0	3,060	新潟石仏の会会費
合 計	206,000	173,010	

収入合計 支出合計

180,500-173,010=12,260

次年度繰越金 12,260円

平成9年3月30日

平 井 一 雄 印

## 平成9年度予算書

## 収入の部

前期繰越金	12,260	
会 費	200,000	2,000×100名
雑 収 入	1,740	利息、その他
合 計	214,000	

## 支出の部

事 務 費	30,000	事務用品、コピー代
会 報 費	130,000	会報代
予 備 費	4,000	
合 計	214,000	

## 役員構成

顧問	京 田 良 志 (富山県)
会 長	久 世 嘉 太郎 (石川県)
副 会 長	北 村 市 朗 (福井県)
	柳 沢 栄 司 (富山県)
	吉 川 繁 (新潟県)
事務局長	尾 田 武 雄 (富山県)
	滝 本 靖 士 (石川県)
	大久保 まさ子 (福井県)
	島 倉 千 春 (富山県)
監 事	平 井 一 雄 (富山県)

## 平成9年度事業計画

5月第16回例会 三国 (福井県)

9月第17回例会 魚津市 (富山県)

12月 会誌『北陸石仏の会研究紀要』第二号発行

会報は年3回を目標とする

新潟石仏の会と連絡を密にする

会員名簿を作製し、各県の会員同志の連絡を密にする

北陸石仏の会第十七回例会案内

案 内

◎日 平成九年九月二十八日 (雨天決行)

◎時 間 集合 午前九時三〇分 (JR富山駅北口)  
解散 午後三時三〇分 (JR富山駅北口)

◎参加費 五、〇〇〇円 (バス代、資料代、謝礼など)  
昼食は各自持参して下さい。

◎申込み はがきで住所・氏名・電話を記入の上左記まで  
締切り九月十五日 (月)

千九三九一―三

富山県砺波市太田一七七〇

尾田武雄 気付

北陸石仏の会

〒〇七六三―三三二―二七七二

◎見学所 富山県魚津市天神山周辺の石仏

(八十八ヶ所観音石仏・阿弥陀三尊・金比羅など)

魚津市郷土館、歴史民俗資料館

魚津市小川寺千光寺周辺の石仏

(観音堂・心蓮坊・線刻六地藏など)



●会費未納の方は、早急にお送り下さい。

●尾田武雄さんが『砺波散村地域研究所研究紀要』第14号で、「砺波地方に展開する聖徳太子南無石仏」について発表します。

●新潟石仏の会は、会長が阿部茂雄氏から石田哲弥氏に、事務局長は石田氏から荒井昭氏に代わられ、阿部氏は顧問になられました。

●新潟石仏の会「中部地区・道祖神部会合同見学会」が左記のようにおこなわれます。

●中越地区・道祖神部会合同見学会

日時 十月十九日 (日) 九時三〇分〜十五時

集合 柏崎市立博物館 九時三〇分 柏崎市緑町八一三五 (赤坂山公園内) 〒〇二五七―二二一―〇五六七

内容 柏崎市谷根の石仏見学会。谷根地区は市内でも有数の石仏の宝庫。道祖神や寒念仏塔、牛頭天王塔など、多様な石仏が集落内に祀られています。ここを見れば柏崎の石仏のエッセンスを味わうことができます。

講師 阿部茂雄先生 (当会顧問)

会費 一、〇〇〇円 (資料代込み・当日徴収)

申込み ハガキにて「谷根石仏見学会参加」を明記の上、氏名・住所・電話番号、自家用車で参加か否かを記し、九月末日までに下記宛先まで送付願います。

送付先 〒九四五 柏崎市三島町一六一二

渡辺三四一 〒〇二五七―二二一―一九四一

●京井喜代次著『利賀村の道中地蔵』が発刊されました。

●財団法人横浜記念金沢の文化創生財団・全沢市教育委員会などの発行の『金沢市の地藏尊・金沢市地藏尊民俗調査報告書』が出版されました。